

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果
作成日

令和5年 5月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3070101518		
法人名	社会福祉法人 紀三福社会		
事業所名	紀三井寺苑グループホーム		
サービス種類	地域密着型共同生活介護		
所在地	和歌山県和歌山市紀三井寺617-3		
自己評価作成日	令和5年 5月8日	評価結果市町村受理日	令和5年6月23日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	(基本情報リンク先URLを記入)
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 カロア
所在地	大阪府泉佐野市泉ヶ丘4-4-33
訪問調査日	令和5年 5月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は桜の名所でも有名な紀三井寺の近くに位置する2ユニットのグループホームです。毎月、季節感を感じれるように行事やレクリエーションを実施しており、楽しみを持って、活気のある生活を過ごしていただけるように努めています。グループホームでの生活は9人1ユニットとして共同生活を送っていただく中で、これまでの在宅での生活の延長と捉え、家事などのお手伝いや身の回りのことなど出来るところは自己にて行っていただけるように支援して今までと同じように暮らせるようにと考えています。生活での不便が出てきたところは職員が支えとなり、利用者様、家族様が安心でき、個々の目標・希望に応じた生活が送れるよう支援させていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

自然豊かでのどかな場所に施設があり、建物は平屋でバリアフリーになっており、2ユニット18名で生活されています。施設の中は天井が高く、開放感があり、料理を作る音や匂いを感じられ、利用者はゆったりと過ごされています。重度化された時は看取りが出来るように態勢を整えられています。又、本人、家族の意向を確認し、法人内にある特養への入所支援も行っており、安心して生活が出来るようになっています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人とグループホームとの理念を掲示版に掲示して、職員皆で共有をはかっている。毎朝、合同の朝礼にて参加者で唱和している。	法人の理念とグループホームごとに独自の理念を掲げ、毎朝朝礼で唱和し、職員間で共有され、実践につなげられています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現状、コロナ禍であり、感染予防のため、地域との交流は難しかったが、対応が緩和されてきたら交流を持っていきたい。	コロナ禍の中、地域との交流は感染症予防の為に行われていませんが、以前は地域の祭りに参加されたり、地域の中学校の職業体験などを受け入れられています。又、駅に利用者が作った作品を飾るなど地域との関わりを大切にされています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方のご家族など相談を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状、コロナ禍であり、感染予防のため、皆さん集まるための運営推進会議は行えていないが、各家族様との連絡、コミュニケーションを図りサービス向上につなげている。	現在、コロナ禍で、感染症予防の為に行われていません。	近々、コロナも緩和され、開催するよう考えておられるので、開催された際は、意見をサービス向上に活かされることを期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	制度やサービスに関する問題点など分からないことがあれば、相談させていただいています。事業所内での事故報告などさせて頂いています。	普段からも何かあれば相談できる関係性になっています。又、地域包括の方とも日頃から連絡を取り合っています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	下肢筋力の低下や、歩行が不安定な方などセンサーマット等利用し見守りを工夫して安全に過ごして頂けるよう取り組んでいます。	年に1回法人の研修に参加されたり、グループホームでも研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組まれています。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所やグループホーム内でも人権擁護、虐待防止についての勉強会を行い、虐待の防止に努めている。		

8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の利用についてなど職員1人1人が、しっかり理解できるように勉強会などを通じて学んでいきたいと思えます。		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には家族様が納得していただけるように、十分な説明を行い、家族様の要望や疑問点なども合わせて尋ねている。改正等があった際にも、どのように変わるのか説明させて頂いている。		
10	6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の様子を手紙に書いたり、電話などでコミュニケーションを図っています。面会も再開し、利用者様に対して頂いた意見はスタッフ会議等で職員全員で共有し、サービス向上につなげています。	手紙や電話などで積極的に意見や要望を聞かれています。そこで出た意見や要望を運営に反映されています。又、最近面会も再開され、家族から出された意見等を運営に反映されています。	
11	7 ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	毎月のスタッフ会議で業務や利用者の方へ対応の仕方などを話し合いを行っています。日々気が付いた点などもその都度、または朝の申し送り時などに、職員が意見を出し合いながら話し合いを行っています。	月に1回のスタッフ会議で意見や提案を聞く機会をもたれています。又、日頃から何でも話せる関係作りがされており、日常的に意見が出されています。	
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回、人事考課を行い、実績や目標、希望などについて話し合い、向上心を持って働けるよう職場環境や条件の整備に努めています。		
13	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホームの部署内で勉強会を行い疾病、認知症、介護等について理解を深めている。法人内での月1回の勉強会、随時行われる研修にも参加し、外部の講座、研修にも参加し、技術の向上に努めている。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者との交流をもてるように努めている。同法人内での相互の連携強化、特養などからの研修の受け入れやこちらからの研修などを行い、サービスの向上につなげている。		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前の面談にて、ご本人、家族から日頃の様子や身体の様子、病気の事などをお聞きし、グループホームでの生活での要望などをうかがい、安心して生活して頂けるように関係づくりに努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人、家族の要望、思いをしっかり受け止めてケアにつなげていくことで信頼関係の構築に努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、家族様からの聞き取り、話し合いから必要な支援を行い、その都度、サービスの見直しを行いながら、その人にあったサービスにしていく。		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事など、利用者それぞれに役割分担をして頂きながら共同生活を送り、学んだり、支え合う関係を築いています。		
19	○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話で日頃からご利用者様の様子や状態を伝え、介護の相談や家族様からも話しをうかがい、一緒にご本人を支えて行けるような関係を作っています。		
20	8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話で連絡を取り合ったり、面会もしてもらえらるようにして関係の継続を図っています。	知人の方がホームに来られ、面会をされたり、電話やはがきを出され、馴染みの方との関係を継続されています。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の皆さんは、ほぼ日中ダイニングで過ごされており、個々の性格や利用者同士コミュニケーションの取り方などを考慮して、スムーズに関係が築けるように席を考慮したり、スタッフが話しかけたり支援している。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された後も、その後の様子確認や相談等に応じています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者の方々の思いや意向は日々の関わりの中で本人に尋ねたり、上手く伝えられない方には表情や言動から汲み取るように努めている。又、日頃の言動や様子などを生活シートに記入し把握に努めています。	入所前に本人や家族の希望や意向を把握されています。又、日常の会話などを生活シートに記入し、職員間で共有されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	これまでの暮らし方について、ご本人や家族様から聞き取った情報や基本情報をもとに、これまでの生活歴の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の様子を記載する生活シートを用いて、一人一人の1日の生活の流れを把握し、心身の状態や出来る事、分かる事に注目し、その方全体の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者が望む生活を送って頂けるように、ご本人、家族様から希望や意見を聞き、課題となる事を関わるみんなで話し合い、介護計画の作成に活かしています。	毎月モニタリングを行い、6カ月に1回見直しを行っています。又、状態の変化によってその都度話し合い、現状に即した介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者の方、それぞれについて毎日の生活の様子や心身の状況、ケアの実践、結果など記録し、ミーティングやスタッフ会議で話し合い、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化に柔軟に対応できるよう、看護師や主治医と随時連絡を取り合い連携の強化に努め、ご本人や家族様がその時望む生活を継続していけるよう支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	医療機関や行政機関や地域資源などを活用し、利用者の方が、安全にその人らしい生活を送れるよう支援しています。		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族様に希望する主治医を選んで頂いています。利用者の状態を家族様、主治医に随時報告し、適切な医療を受けられるように支援している。	利用者・ご家族の希望のかかりつけ医になっており、ご家族が無理な時や突発的な時などは通院介助も行われ、主治医とは24時間オンコール体制が整っています。また専門医では歯科往診などもあり、適切な医療を受けられる支援がされています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	看護師に利用者の状態を報告、相談し、適切な受診や日々の健康管理など状態の変化に応じた看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された際、入院前の様子や生活の様子、既往歴、グループホームでの支援の内容など速やかに伝達、報告しています。カンファレンスなどに参加して情報をいただき、戻って来られてからの対応につなげています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人、家族様の意向を踏まえた上で、医師、看護師、介護職員が連携し、チームとして支援に取り組んでいます。	入所時や状態に変化があった際に看取りや重度化した時のことを話し合われています。主治医・看護師とも24時間オンコールでき、看取りを行う体制が整っています。また、看取りに対しての勉強会も行われています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急の講習の受講や、疾病に応じた初期対応の勉強会などを行っています。急変時の対応に備え、職員間でもその事態に応じた対応の仕方なども話し合っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の避難誘導や経路の確保など訓練を行っている。	年2回法人と合同の避難訓練と、グループホーム独自で避難訓練をされています。また、水害に対しての避難経路の確認や備蓄もされています。	避難訓練は行われていますが夜間想定避難訓練も行い、夜間の人員で対応できるかなど検討されてみてはいかがでしょうか。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者のプライバシーに関わること等、その人にしか聞かれないように場所を選んだり、小さい声で話したり気をつけています。一人一人の人格を尊重して不適切な対応をしないように気をつけています。</p>	<p>年2回の研修や毎月の会議の中で話し合われています。また、日頃の業務で気になるころがあれば、その都度対応されています。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>食べたい物をきいて提供したり、好きな食べ物を選んで頂いています。また、誕生日のプレゼントなど欲しい物をきいたりしています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日々の大体の時間は決まっているが、利用者の気分や体調により、希望にそえる支援をしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>入浴後や翌日に着る服などは、本人に希望をきいて用意をしています。また、気候に合わせた衣類を助言する。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の希望を取り入れ、メニューを考えている。調理の下準備や食器拭きなど、出来る範囲で手伝って頂いています。</p>	<p>メニューに利用者の希望を聞き入れ、職員が調理されています。行事食や毎月のおやつ作り、テイクアウトなど行い、食事を楽しむ工夫がされています。利用者の方も準備や下準備も手伝われたり、食器も個人の物を使われています。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>毎食の摂取量、一日の水分の摂取量を毎日チェックしており、摂取量の少ない方には十分に摂ってもらえるように促している。その人の好みの物（ジュース等）や形態を工夫して提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>本人の能力に応じて、自分で歯磨きをしたり、入れ歯を洗ったり、自分では難しい人はスタッフが行っていきます。入れ歯を洗浄剤に浸けたりしている。</p>		

43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	毎日の排泄の状況をチェックして、排泄のパターンを把握している。トイレへ行く間隔が長ならないように声をかけたりしてトイレでの排泄を促している。	生活シートを使用し排泄パターンへの把握に努め、利用者のサインを見逃さないよう自立に向けた支援がされています。また、毎月の会議で利用者に向けた排泄用品も検討されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便の状況をチェックしている。便秘予防のために、毎日、ヨーグルトやバナナなどの果物、乳性飲料などを提供している。体操などの運動もしてもらうようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望にそって入浴して頂き、清潔にすごしてもらえるように支援している。	入浴は基本週2から3回で利用者の意向に応じ行われています。重度化した場合は二人介助やシャワー浴にて対応されています。また、入浴剤や季節の物を入れたりし入浴を楽しむ工夫がされています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はなるべく活動して頂き、夜にぐっすり眠れるように支援している。状況や希望に応じて日中も休息をとって頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	既往歴の一覧と一緒に服薬内容も記載してある。個人ファイルに服用薬品名カードを閉じている。薬の変更などあった際には申し送りのノートに記載して全員が周知するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の能力に合った家事などを手伝って頂いたり、体操をして体を動かしたり張り合いのある日々を送って頂く支援をしている。又、レクリエーションや毎月の行事に参加して楽しく季節感を感じて頂いている。		

49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>コロナ禍が続き、感染症予防のため、行きたいところに行くことは難しかったが、緩和されてきたことで、外出の機会も増えていきます。</p>	<p>コロナ禍で以前のような外出は難しい状況ですが、週2回法人の喫茶に行かれたり、敷地内を散歩されています。また、ドライブや花見に行かれ、少しづつ外出の機会を増やされています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者より買い物等要望があれば買って来ています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望があれば電話をつないだりしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>皆さんが過ごすダイニングには季節の物を取り入れ、見て喜んで頂けるような空間づくりをしている。トイレや浴室など共有スペースは清潔にして、事故のないように気をつけている。</p>	<p>リビングや廊下は光彩が豊かで観葉植物や花、季節の作品も飾られています。玄関には野菜や花を植えられています。ホームは木の温もりがあり、また、清潔感もあり居心地よく過ごせる空間になっています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングでは気の合う利用者同士で過ごせるように考慮しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物や家族の写真などを飾ったりして、居心地よく過ごせるように支援しています。</p>	<p>持ち込みの制限は無く、居室にはクローゼット、ベッドが備え付けであり、また写真を飾られたり馴染みの物も持ち込まれています。又、配置にも気を配られ、居心地よく過ごせる空間になっています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>転倒など事故のないように、又、支えになるように家具などの配置、建物の構造を考慮して、安全に生活して頂けるように支援しています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない